

## 記入にあたっての注意事項等

- この「新規加入者状況アンケート」は、加入推進の効果の検証と今後の必要な見直し・検討のための重要な基礎資料となります。また、質問の中には、制度設計官庁である農水省担当部署からの強い要請で設けられている設問もあり、政策年金としての効果検証のための基礎データとしても使用されます。
- アンケートの趣旨をご理解の上、加入者の方に同アンケートにご協力いただけるよう働きかけをお願いいたします。
- 同アンケートの1の①～⑦、2の問1～問6については、新規加入者に直接記入して頂くか、又は、相手の状況により、業務受託機関の聞き取りによる代理記入の協力をお願いします。  
また、お手数ですが回答数等（例：回答数が1つだけの所を2つ〇が付されている）の形式的な確認も併せてお願いいたします。
- 同アンケート裏面の業務受託機関が記入する「貢献度割合」等の部分は、業務受託機関（農業委員会、農業協同組合）の新規加入者数割の配分割合となりますので、農業委員会、農業協同組合の双方でご相談の上、必ずご記入をお願いいたします。
- 「貢献度割合」等の部分の「被保険者証の記号番号」は、「記録管理システム」と突合を行いますので、必ずご記入をお願いいたします。
- 同アンケートへの新規加入者の協力が得られない場合でも、裏面の業務受託機関が記入する欄（「貢献度割合」等）については、以下の①～⑦の項目に留意の上、必ず記入するようにして下さい。

- ① 被保険者証の記号番号欄には、加入申込書の（1）の欄と同じ番号を記入して下さい。

(例) 

(記	号)	(番	号)

 ← こちらの下6桁の番号を記入して下さい。

- ② 市町村コード欄には、加入申込書の21の欄と同じコードを、農林漁業団体統一コード欄には、20の欄（政策支援加入申込書の場合は19の欄）の都道府県と団体コードと同じ番号を記入して下さい。

(例) (21) 

0	1	1	0	0
---	---	---	---	---

 → (市町村コード 01 - 100)

(例) (20) 

機関	種別	都道府県	団体コード
1	0	10	100

 → (農林漁業団体統一コード 10-100)

- ③ それぞれの業務受託機関の名称を記入して下さい。

(例) ( 港 農業委員会) ( 虎ノ門農業協同組合)

- ④ 受付年月日欄には、申込書を受け付けた年月日をそれぞれ記入して下さい。

裏面につづく

- ⑤  には、当該加入申込者の加入に業務受託機関が取り組まれた割合を、実情に応じて、双方を足して1になるよう小数点第1位までの配分で記入してください。（配分を決定する際には、両業務受託機関で相談して下さい。）

	農業委員会	:	農業協同組合
(例1)	1	:	0
(例2)	0	:	1
(例3)	0.7	:	0.3

- ⑥ 今回加入した方は、貴受託機関で作成・更新されている『加入推進名簿』に搭載されている方でしたか。『加入推進名簿』をご確認いただき、搭載されていれば「はい」に○を、されていない場合は「いいえ」に○を付して下さい。
- ⑦ 受付印欄には、農業者年金の各届書を受け付けた時に使用する受付印を押印してください。その際の受付印の日付は、加入申込書を受け付けた日付または両業務受託機関にて「貢献度割合」等を確認していただいた日付でも問題ございません。

#### ○ [提出・保管について]

- ・ 加入申込書と一緒に提出して下さい。
- ・ 同アンケートについては、基金より貢献度割合等に関する問合せをすることがございますので、写しの保管をしておいてください。

※「新規加入者状況アンケート」は、基本的に加入申込の受付をした業務受託機関からの提出となります。しかし、加入者の居住地と農地の地域が異なる等の事情により、加入推進をした（「貢献度割合」等を記載する）業務受託機関と加入申込の受付をした業務受託機関が異なる場合は、双方承諾のうえで加入推進をした（「貢献度割合」等を記載する）業務受託機関から提出することも可能です。その際は、事前に当基金へ必ずご連絡いただきますよう、よろしくお願いいたします。